

人

二一七 譯受 始信 〇〇一〇五八 譯了 〇三〇〇 電〇七七〇四 參作 本概

緊急

東京通信隊・聯合艦隊口・橫通・第三航空艦隊口

總無線艦所用共通符號

作



着信者 橫濱長官 軍司令部次長 參謀次長  
 通報 厚木航空基地 二十二戰隊司令官 七潛戰司令官  
 戰報 二月十六日

一 一〇四 二四〇度五八籽ニ探知續イテ B 一 二四 二機來襲高度約

三、二〇〇米ニテ島内及海中投彈

二 發射彈數 (七〇四七一五) 十二糶七高角砲三四 (一一〇八)

八 糶高角砲二一 (二八〇四)

三 戰果 ナシ

四 被害 戰死陸軍下士官一名施設部貨物自動車一大破 (修理不能)

通八八三一 呂一Bケ四 (B) 須賀 石垣 小川

1326

20 2. 17

人



二 一七 受信 〇〇一〇三〇〇 譯了 〇一二五 電 〇七七四一 作 概

符 共

横鎮防空指揮所

機密第一六一三二六番電

發 横鎮長官(情報)

- 一、御前崎南方七〇涅附近ヲ中心トシテ約八〇涅圈内哨戒中ト判斷セラルル 數目標アリ附近ニ敵機動部隊存在ノ算大ナリ
- 二、諸情勢ニ鑑ミ敵機ハ明早朝ヨリ中西官區所在航空基地及軍事施設ニ對シ來襲ノ算大ナリ嚴重ナル警戒ヲ要ス

通 八八三七 於十四(一二〇KG) 横進 出岑(久保田)

20. 2. 17

二 一七 受信 〇〇五五八七 譯了 〇六三〇 電 〇七七六七

航作機本〇

作戰緊急

一 一 聯合航空隊

一 一 聯合航空隊



横須賀鎮守府。聯合艦隊口。三航空艦隊口。

機密第一七〇一一五番

機密第一一聯合航空隊信電令第五五號

明十七日各隊ハ左ニ依リ作戰スベシ

一 哨戒零式水偵三機基點航路（擔任部隊）ノ順

犬吠埼 一一五度（鹿島海軍航空隊） 一三〇度（鹿島海軍航空隊）

一四五度（北浦海軍航空隊）進出距離二五〇哩左折三〇哩發進時

刻〇五〇〇呼出符號鹿島哨戒機 ワヤ二 ワヤ三 北浦哨戒機

通八九二五 於十四（B）續通

仙波（増田）

20. 2. 17

ワヤ四 木更津基地ケ七リ 使用電波常用七〇三五KG 補用七六  
三五KG

ニ其ノ他機密七〇Gニ電令作第三六號ノ通。

二一七

受信開始 〇六六二〇六六

譯了 〇六五五 電 〇七七六八

作 概



著 共

符

横領防空指揮所

機密第一七〇五三〇番電

發 横領

敵ハ昨夜殆ド徹宵ニテ八丈島附近及御前崎南方近距離飛行 三宅  
島、八丈島ニハ時々照明彈ヲ投下 尙時々勝浦、石室崎ニ近接セル  
敵哨戒機ヲシキモノアリタリ。

通八九二八

オ一三(一)二〇〇〇一横領防

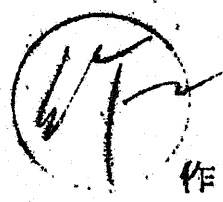
林(金子)

20. 2. 17



二一七 受信始 〇八四三五 譯了 〇八四九 電 〇七八一六 航作 概 〇

作戰特別緊急 鹿屋空基地



第一機動基地航空部隊作戰命令着信續所

機密第一七〇六五八番電

一 K F G B 信電令作第二六號

K 五〇一 (第一菊水隊) へ攻撃 (退避) 一五分間待機トナセ。

20. 2. 17

通八九四五 才十四 (七六〇五) 鹿空 長尾 (鈴三)

1332

BK  
TX 11  
TX 12



作戰緊急

二 一六 受信 〇〇八二二三

譯了 〇八三八 電 〇七八一二 作機

● 硫黃島航空基地

● 七基地航空部隊作戰命令着信機所

機密第一七〇七二一 番電

20. 2. 17

二、敵ハ〇六四一ヨリ南海岸水際ニ對シ猛砲撃開始シ  
六機上空ニ在リ。  
中  
小型 〇十二 上陸用舟艇 二九基地ノ南方一〇一  
二〇 大型 〇十一  
〇六〇〇ニ於ケル敵ノ兵力 〇十二  
〇二十 大機 〇十一  
〇一 二〇 新ノ海面遊弋

通八九四三 於十四(B) 木空 清水(森田)

二一七

受信開始 〇九二二三

譯了 〇九二七 電七八三七 作概

母島警備隊

繪

共

符



機密第一七〇八四四番電

空襲警報解除

グラマン延七〇機來襲銃撃ヲ受ク

〇八四四

通八九六〇 於一四 (五一〇〇KG)

横須賀 特

牛

牛

(石井)

20. 2. 17



人

二一七

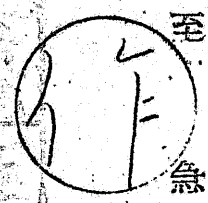
受信一四三三五  
譯始一四〇四五

譯了二四一九

電電〇七九四七  
九四七

作概

至急



千防部隊戰鬪概報着信艦所

機密第一七〇九四九番電 二分ノ一、二

千防戰鬪概報第一〇五號 (二月十七日)

〇八五〇B一三四、三機超低空ニテ「カゲノマ」ニ侵入海面スレスレ  
ニテ摺鉢經由武藏(春日山丸揚塔中)ニテ爆彈二〇數發投下再々摺鉢  
ニ引返シ銃撃後東方避退別ニB一三四、二機〇九〇〇「ロバツカ」方  
向ヨリ「コクタン」ニ侵入銃爆撃後北東方向ニ避退  
戰果被害ナシ 天候半晴視界五〇軒西ノ風五―六米。

通九〇六八四

天一B 六(B) 大湊通 相澤(小澤)

1334

20. 2. 18



緊 急

二 一 七

受信一三〇五  
譯始一三三五

譯了一三二五

電〇七九四五

作概〇  
參本

父 根

父根戰鬪概報着信艦所

機密第一七〇九四五番電

戰鬪概報 (二月十七日) 其ノ二

一〇七〇二 二見灣内船ヲ銃爆擊母島方向ニ向フ

三〇七五三母島方向ヨリ六八一機低空ニテ近接セルモ侵入セズ

本島ヲ周廻中入港前ノ陸軍機帆船ヲ銃擊南ニ去ル 二二〇度一〇〇

料ニテ電探感度消滅

三戰果 六機撃破二機

四被害 陸軍機帆船一機沈。

通九〇二五

出一三十八

(B) 慎通

鈴木 (上野)

20. 2. 18

二二七

受信一四三五  
譯始一四〇五

譯了一七四五

電〇八〇八一  
航作概本〇

● 鹿屋航空基地

● 一機動基地航空部隊作戰命令着信監所

作

機密第一七〇九四六番電

20. 2. 18

一 K F G B 信電令作第二七號

一、二〇三空竝ニ九州空ハ本十七日麾下戰團飛行隊ヨリ夫夫強行偵察

戰團機(基地ヨリ概ネ二〇〇機ヲ偵察)彩雲六(計一二組)ヲ

編成鹿屋ニ派遣シ一飛行隊長ノ指揮ヲ受ケシムベシ

二、一飛行隊長ハ右兵力ヲ指揮司令ニ依リ強行偵察ヲ實施スベシ

三、該兵力ノ整備擔任ヲ在鹿屋七二一空トス

四、二〇三空司令ハ所要ノ整備員ヲ派遣應接セシムベシ

通九〇九〇 呂一Bヲ十八(七六〇五機)鹿空基地 野木(機)

12K

二 一七

譯始 二二四五

譯了 一四〇〇 電〇七九六一

航作 統本〇

● 鹿屋航空基地

● 第一機動基地航空部隊作戰命令着信處所

機密第一七一〇一四番電

20. 2. 18

一 K F G B 信電作第二八號

一 敵機動部隊今朝尙母島關東地區來襲中 〇區方面八〇度ヨリ一七五

度四〇〇埋圖一〇〇〇迄敵情ヲ得ズ

二 第二警戒配備トナヤ

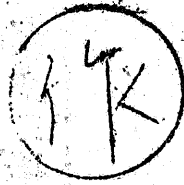
通九〇三三 呂一Bヶ四 (七六〇五KG) 鹿屋航空基地

安田 (渡瀬)

二  
一八七 受信始 ○一九五七

了〇八三〇 電〇八四九二

九〇一空 (香港空基地) 航作兵  
備本概



●●

九〇一空本隊 九〇一空 (東港空基地)  
海上護衛艦口 二遣支隊除尸

機密第一七一〇二〇番電

九五一空派遣零戰隊近日中ニ引揚ゲトナリ陸上機基地員全部無シトナ  
ル惧レアリ (水上機基地員 下士官十四名兵二十三名ナリ念ノ爲) 戰闘  
機隊進出ノ場合ハ勿論陸上中繼基地トシテノ重要性ニ鑑ミ陸上基地員  
(有章無章ヲ含ミ) 進出ノ豫定ニ付考慮ヲ得度。

通九三一八 呂一〇ラ十八 (四七〇五K) 高迎 カトウ (久保田)



343

二一七

受信二〇六〇七 譯了二二一五  
電〇〇八三〇〇九八

作欄〇

東通・佐通・沖根  
宮古島警備隊

符

機密第一七一〇二一番電

三分ノ二三

20. 2. 18

發 石垣島警備隊司令

宛 沖根司令官。佐藏參謀長、軍令部一部長

通報 宮古警備隊司令

與那國島守備兵力ハ電探アルノミ吾處北部ニ東西飛行場滑走路適地アリ敵機ハ昨年十月村落ヲ爆撃相當ノ損害アリタリ 尙最近ハ晝夜間一月ノミニテ二十回

三分ノ二未着以下三分ノ三

當島特攻隊ニテ攻撃スルコトトシ有刀ナル裝備ヲ有スル海軍陸上兵力少クトモ一個大隊ヲ要望シ全般防備ヲ強固ニシテ配備スルト共ニ海陸軍特攻隊ヲ速ニ當島ヲ進出整備スルコト緊要ナリト認ム。

一電信課註

本電三分ノ二未着

天二七ケ六

佐通 細野・田原 (西卷)

二  
 一六 受信一六二三  
 一七 譯始二一二五  
 一八 譯了二〇〇〇  
 電〇八四五八  
 作概〇

● 共 符



● 東通・佐通・沖縄根  
 ● 宮古島警備隊

機密第一七一〇二一番電 三分ノ二

20. 2. 19

ニ亘リ來襲シ且浮上潜水艦モ偵察シアリ又多良間島ハ無防備ナルトコロ  
 地形平坦ニシテ島内至ル所飛行場ニ適スル地ナリ之ガ防備兵力トシテ  
 奥那國島ニハ基地員ニ有力ナル装備ヲ施セル護洋隊ニ隊ヲ多良間島警備  
 用トシテ碇泊セシムルコト。

（電信譯註 本電其ノ一、三既配布）  
 通九一九〇 天二日ケ六・アテ六（日）佐通 濟野（海羽）

至急



受信一七〇一 譯始一七〇一 譯了一八〇〇 電〇八〇九〇 作概

東通聯合艦隊

高

警

海上護衛總部隊各口・南西方面艦隊・支那方面艦隊口・二遣支艦隊口・佐鎮第一航空艦隊口・海南警・沖繩特根

機密第一七一〇三〇番電

十六日敵機來襲狀況

一 一五〇ヨリ一三二五迄及一三四五ヨリ一五一〇迄ノ二回陸上戦闘機延一〇七 八群ニ分レ鷺鸞鼻南方及西方海面ヨリ台灣南部地區侵入内約二〇機ノミ鷺鸞鼻見張所及枋山恒春附近銃撃後南方ニ脱去海軍側戰果鷺鸞鼻ニテ地上銃火ニ依リ一機撃墜(不確實)被害ナシ

二 二四〇ヨリ十七日〇三五八頃迄ノ間敵大型機各一機台灣西岸及東岸ヲ北上偵察セルモノノ如シ、西岸北上敵機ハ安平港内ニ坐礁セル船舶ト約三時間交戦後南下脱去セリ。(註 約三時間ハ三分間ノ誤作?)

通九一四八 呂一B(一三五二〇KC) 高通 岡本(吉田)

20. 2. 18

1342

47 CD

人

二一七 受信 二二三六  
詳始 二五〇六  
譯了 一三一〇 電 〇七九一九 作 概



横 防 隊

海 防 四七

海 護 總 口。横 隊。甲 直 接 護 衛 部 隊

機 箱 一七一一一〇 番 電

發 四七 聯 海 防 艦 長

十七日一〇三五 横濱 艦 二 於 本 艦 上 空 附 近 飛 來 せ る 敵 戰 闘 機 二 機 ヲ

擊 破 せ ば

通 九〇五六 於 一四 (B) 横 通 田 尻 (河 田)

20. 2. 18

二一八 受信一三三〇四 譯了一四二〇 電〇八六〇〇 參作 本概〇



● 日夕敵情遠望着信艦所

機密第一七一—一七番電

十七日視界内艦船前電ノ通

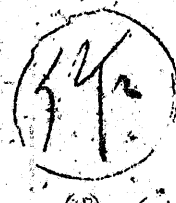
發見機約一〇五機内B1二九北行五南行一小型機約三三ニシテ機種機數  
共ニ増加一八三〇乃至二一三〇テニアシ中央爆撃機九、一八三〇探照燈  
一 一九〇五高射砲ノ炸裂ラシキモノ三發ヲ認ム

通九八三四 トト才 (八九九五 KC) 四通 山本 (福田)



二一七 受信一五〇四 譯了一九四九 電〇〇八八〇六八九 作礎〇  
譯始一六〇〇

緊急 東通・横通・東京湾西航路部隊・大阪通 海上護衛隊



東京湾北航路部隊・九〇三空

機密第一七一一四五番電 二分ノ一、二

通報 横銀參謀長 阪警參謀長 海上護衛參謀長

信電令作第四〇〇號

一、敵機動部隊ハ十七日尙房總及伊豆南方海面ニ在リテ今朝來スルカ  
灣其ノ他ニ來襲シツツアリ航空基地港灣船舶ヲ主目標トスルモノ  
ノ如シ

二、各部ハ對空對潛ヲ一層嚴ニスベシ

三、各部隊指揮官ハ艦艇船團航空機軍裝物件ノ分散地下格納ヲ徹底的

通九一四一・九一四〇 天二〇六(一)横須賀 石垣(イイダ)

20. 2. 18

1345

ニ實施スベシ

四、特令アル迄、船團ノ五箇所灣以東ノ行動ヲ禁止ス

II



二一七 受信一五四五八 譯了一六一〇 電〇八〇〇九 作 概

作戰緊急

燒津空地



七基地航空部隊戰鬥概報着信處所

秘密第一七一二二五番電

藤 基地戰鬥速報

一〇五〇〇 彗星五機 零戰五機 索敵攻擊發進〇八四〇 全機歸着 索敵正  
面敵ヲ見ズ

二〇八一五 藤 航空基地ノ一六三度六三 湊浮上潜水艦一隻ヲ認ム

三 先端附近天候雲重六―七雲高一〇〇―二〇〇〇 視界一〇 湊雲

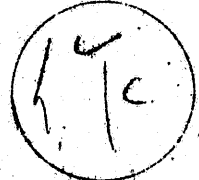
下ニストアリ 索敵敵ヲ見ズ 天候雲重五雲高一〇〇〇 視界五 湊。

通九二二六

於一四 (三九一五 KC) 木空基地

峰 (上野)

20. 2. 18



二一八 受信一七四四二  
譯始二〇四五

譯了二二〇〇

電  
〇〇〇  
八八八  
七七五  
一一一  
二八二

作標

20. 2. 19

二五根戰團概報着信艦所

機密第一七一二三八番電 三分ノ二二三

五五B 戰團概報

一、ソロン部隊指揮官ハ昨年末以來陸軍東兵團ノニユキギネ、  
アル北岸作戰ニ對シ主トシテ輸送ニ關シ積極的協力中ニシテ、  
月一日ヨリ二月十六日迄ニ實施セル海軍ノ前線輸送ハ海軍艦船  
一五隻ニ及ベリ

通九六七五 九九三四  
九九六〇

呂一〇ケ四 (一八三六七、五〇) 二二一通

(1)

奥山、渡田

ニ「サンサポール」乃至「ソロン」最近敵情並陸軍東兵團作戦状況

次ノ通

(イ) 十二月十八日陸軍部隊東「ムルガ」攻撃後「カスピ」岬以西敵兵ヲ見ズ

(ロ) 敵機哨戒「ムガ」附近相當嚴重ナルモ「ソロン」附近閉散ニシテ魚雷艇ヲ見ズ

(ハ) 敵捕虜訊問並ニ陸軍將校斥候報告ヲ綜合スルニ「サンサポール」附近多量ノ敵軍需物資山積シアリ敵警戒ハ嚴重ナラズ

(ニ) 敵陸軍少將ヲ長トスル「マピ」以東陸軍兵力一四五〇ノ内四七〇ハ「ムサモ」ニ在リ(近日中六七〇ニ増勢豫定)柏少將ノ率キル陸軍部隊約二〇〇ハ二月十日「バル」ニ「サンサポール」岬ノ南西三哩ニ向ケ進發セリ

(ホ) 陸軍ハ挺進隊五、六〇名ヲ以テ三月八日ヲ期シ「ノーム」攻撃開始ノ豫定。

(2)



ノ



五 二 警

千防部隊戰鬥概報着信艦所

機密第一七一二五七番電

第二警備部隊艦艇概報電五號（二月十七日武藏地區）

一〇九〇〇摺鉢方面海面超低空ニB三四型三機發見敵機ハ單縱陣ト

ナリテ春日山丸攻撃ヲ加ヘントシモ東方海面距離約一萬ノ海中ニ

爆彈投下遁走セリ

三砲艦トズ

警時敵機ノ前方上空ニ現ハレ雲間ニ入りタル機一機アリタル爲敵

機ハ攻撃ヲ斷念シテ反轉海中ニ爆彈投下遁走セシモノト認ム

春日山丸異狀ナシ。

海九三一七 執一Bケ二（四〇七五K）大澤 半澤（木下）

20. 2. 19

4

二一七八  
受信二〇三〇  
譯始〇〇三五〇  
譯了〇二三〇  
電〇八三五四  
航作概本〇

至急

作

佐世保航空基地

聯合艦隊司令部、五航空艦隊司令部、佐世保海上護衛總司令部

大海參一部

機密第一七一三〇七番電 三分ノ一

二月十六日現在九五一空現有數及配備左ノ通

一 佐世保(4)零式水上偵察機一四機(搭乗員A三B四C四D六)

(甲)零式觀測機八(A八 B 〇五 D二〇)

(乙)水上戦闘機一〇(A一B一〇一一) 外ニ九四式水上偵

察機三機

二 大村(現在ノ濟州島ニ派遣中)九六式陸上攻撃機四機(A一〇)

一 電信課註(本電三分ノ三既配布)

通九三四九 呂一〇ケ四(B) 佐通 吉村(角田)

20. 2. 18



至急

二一七  
受領二〇〇五  
開始〇〇一〇  
了〇一〇五  
電報〇八三一九  
航作概本〇

海上護衛總口・聯合艦隊口・五航空艦隊口・佐世保

大 海 参 一 部

佐世保航空基地

機密第一七一三〇七番電三分ノ三

指宿（古仁屋ヲ含ム）

(1) 零偵二四機（A九B八〇五D一〇）内一在佐世保三在天草

(2) 零観七（A二B五〇一三D一〇）

(3) 水戦二外ニ九四式水偵二機

四小隊（石垣ヲ含ム）

(4) 一式陸攻三機在大村（九六式陸攻ヨリ一式ニ移リタル直後ノ手ノ三

組

通九三五三

呂一Bケ四（B）佐世保 原、澤（小林）

(一)

20. 2. 18

(甲) 九六式陸攻三機在上海 (A三B一)  
 (乙) 艦攻六機在大村 (A二B二〇二)  
 (丙) 二式中練九  
 五 上海 (舟山島青島ヲ含ム)

(丁) 零戦四雷電四

(戊) 艦攻三 (A三B三〇二)

(己) 九六式陸攻三 (A三) 大村ヨリ派遣ノモノ

(庚) 零式水偵一六機指宿ヨリ派遣ノ三機ヲ含ム (A六B六〇四) (搭乗員ノ伎倆評語ハ對潛作戰ニ關スルモノナリ)。

無線信課誌 本電三分ノ一未着



二一七

受信了

八八七二〇〇〇

電電〇〇八一〇四五

航作

本概

〇

作戰特別緊急

第七基地航空部隊作戰命令着信艦所

木更津航空基地



機密第一七一三〇八番電 二分ノ二

20. 2. 18

七FGE電令作第三七號

左ニ依リ特攻攻撃ヲ實施スベシ

目 標 八丈島南東方敵空母

ニ攻撃要領

(イ) 一四〇〇彩雲一機發進索敵航路石室崎ヨリ一六五度一二五溼九〇

度六〇溼以內敵發見セバ之ニ觸接

(ロ) 特攻隊 彗星六機特令ニ依リ發進

小機野寺井

(鹿島)

九二七九・九二九三

於一四(七三六〇K)木空基地

(一)



(イ) 項偵察機ハ攻撃終了後(一七一五頃)戰果確認ノ上未更津ニ歸投

(ニ) 使用電波七八七〇  
呼出符號 彩雲 ヤコ一

彗星 二六ア一六

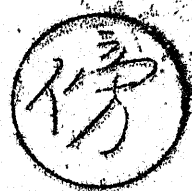
暗號書 リサ主用

基點 八丈島南端「八一」

(ホ) 其ノ他奪取基地指揮官所定。

(二)

二一七 受信一四五四 譯始一六二五 譯了二七〇〇 電〇八〇一四 航作 本概〇



● 硫黃島航空基地。？  
● 第三航空艦隊P。？。父島航空基地

機密第一七一三二二番電

發 父島根據地隊司令官

明十八日未明發進天山二機（五〇番又ハ二三番二爆裝）ヲ以テ察明攻  
撃ヲ實施セシメテハ如何返。

通九一五〇 呂一Bヶ四（七六二〇IC）木空 尾崎（森 田）

20. 2. 18

人

二、一七

受信一八二五  
譯始一八五五

譯了二〇〇〇  
電〇八一→三

作 18  
統

至 急

父島特根賊艦着信處所

共

符



機密第一七一三二五番電

發 母島警備隊司令

一、戰間概報（二月十七日）其ノ一

〇六二〇 二四〇度七〇軒ニ敵編隊深知西海岸ヲ統率シ七一ニ父島上

空ニ敵艦見發見警戒中ノ所〇七二八ヨリ〇八二三迄グラマン機

延七〇機來襲東港沖村ニ統率後南方ニ遁走

二、警 隊 一機

三、被害ナシ

四、發射機數（一門平均發彈數）十二連高角砲通常彈三三（一一七）燒後

彈七（三三）二十五耗機二二四九（一四八五）十三耗機四九三（

通九二八二 呂一七（五一〇〇） 續須賀 明 比（言 田）

二一七 受信一八一〇五

譯了一八三二

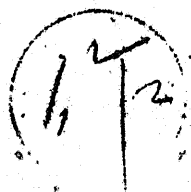
電電〇〇八八八〇〇八五一八三四

航作本樹〇

作戰特別緊急

木更津航空基地

第七基地航空部隊作戰命令着信艦所・霞空・館空



岩國空・國分第一空基地・串良、岡崎、豊橋、第二鈴島各空基地  
鹿屋空基地・名古屋空・阪・警・横・鎮・吳

機密第一七一一三三三番電 三分ノ二三

七 F G B 電令作第三八號

一各隊ハ明日左ニ依リ作戰スベシ

二〇五〇〇以後第一警戒配備

三戰團機隊可動全力(第二一〇空ハ明治基地ニ於テ邀撃)茂原基地集

結茂原基地指揮官ノ指揮 下ニ編入邀撃戰團

三〇五〇〇以前ニ出發左ノ基地ニ移動(三A B以外ノ兵力ハ指揮官所

定)陸攻銀河大分五二五ニ串良五〇五國分機隊及六〇一空艦攻

艦爆岩國二一〇空及s九〇一德島(明朝)五〇〇以前ニ發進不能ノ

通九二二三・九二八五・九二七〇 オ十四(七二六〇)木空 發井、中川(鈴三)

20. 2. 18



モノハ本日一六〇〇以後適宜明治以西ノ基地ニ移動ノ上明日右基地  
ニ移動

四 K 二五 一 K 一〇五ハ移動後五 A F ニ編入サルル豫定。